YMIワールド 2026－2027第5号

ブルーミュージック

YMIWORLD

強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う

ワイズメンズクラブ国際協会

2026年11月



Inspiring Leadership BUILDING FELLOWSHIP

ビルディング フェローシップ (BF)

本誌の内容は、YMIクラブの熱心な会員および役員の方々の尽力によって成り立っており、心から感謝申し上げます。また、外部からの記事やメッセージを掲載することもあり、その場合は寄稿者の方々のお名前を明記いたします。

目次

ページ

国際会長メッセージ 3
ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク　国際会長

国際本部ニュース 5
ジョース・ヴァルギース　国際書記長

YMIリソースのお知らせ：BF 6
マニュアル改訂委員会

BF：理解、参加そして支援 7
前田香代子　BFプロモーション国際事業主任

BF：リソースの管理と機会の拡大 9
K・ヴェンカテシュ　BF支出委員会委員長

iGo：iGoの特典 10
リタ・ヘッティアラッチ　iGo国際事業主任

アフリカ地域ニュース 11
ジョウン・マティ　アフリカ地域ニュース編集者

アジア太平洋地域ニュース 12
利根川恵子　アジア太平洋地域ニュース編集者

ヨーロッパ地域ニュース 14
ビルジット・ジェイコブセン　ヨーロッパ地域ニュース編集者

インド地域ニュース 16
ジョセフ・ヴァルギース　インド地域ニュース編集者

韓国地域ニュース 20
キム・ジンク　韓国地域ニュース編集者

米国地域ニュース 23
メラニー・カイフエ・ヨシダ　米国地域ニュース編集者

TOFプロジェクト申請 25

国連デー：2026年11月 26

神の始まり！ 27
ヴィリー・モルゴー　キリスト教強調国際事業主任

2027/28年度 BF代表ホスト募集 28

編集長から

YMI Worldへのご意見やアイデアをお寄せいただく場合は、編集長までご連絡ください。
12月は
キリスト教強調とIBCの強調月間です。

インパクトのあるストーリーを送信するには、以下をクリックしてください。
締め切り：2026年11月15日

編集長へ

国際会長メッセージ

国際会長　ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク



ブルーミュージック
驚くべき効果を発揮しています！

親愛なる友人たち！

ペナンで開催された国際大会で、多くの方々にお会いできたことは本当に素晴らしいことでした。ワイズメンズクラブ国際協会における素晴らしい国際的な親睦と友情が、まさに体現された大会となりました。今月のテーマはまさにこれです。BF、iGoインターンシップ・グローバルな機会の提供です。

誰もがいつもエキゾチックな場所へ旅行できるわけではありません。しかし、最近は、世界各地で開催されるブルーミュージックのイベントから、素晴らしいビデオ、写真、レポートをたくさんいただいています。本当に素晴らしいことで、私の心はインスピレーション、喜び、そして感謝の気持ちで満たされます！いくつか例を挙げてみましょう。

インド、中央トラヴァンコール区、第5部：文化交流会
2026年10月25日

「ブルーミュージックの原則である長いスピーチは避け、形式的な会議は行いませんでした。部長によるわずか2分間の歓迎と開会挨拶でイベントが始まりました。長い会議手順がなかったことは多くの人に高く評価されました。綿密な計画のおかげで、イベントは丁度4時間で完了しました。全員が素晴らしい協力をしてくれました。ブルーミュージックは素晴らしい成果を上げています。」

― シブ・ザカリア、第5部部長





米国、北大西洋区：ブルーミュージック、真の友情 ― ニューヨークでの魔法のような夜 ― 10月18日

「ニューヨーク州ウェストチェスター・ワイズメンズクラブが主催した、心温まるブルーミュージック・キャンプファイヤーに参加できたことは、本当に光栄でした。歌やダンス、物語、そして間近に迫った10周年記念式典や、私たちの代表的なチャリティプログラムについての有意義な会話で満たされた夜でした。単なるイベントではなく、私たちの友情、団結、そして連帯の絆をより強固なものにしてくれた夜でした。」

― ジョセフ・カンジャマラとジョセフ・マシューズ

アジア太平洋地域、東日本区：ブルーミュージックキャンプファイヤー – 10月17日～18日

東京YMCA山中湖センターでブルーミュージックキャンプファイヤーが開催されました。2日目は天候にも恵まれ、富士山の美しい景色を眺めながら、大型カヌーやボートに乗って湖上レクリエーションを楽しみました。「なんて楽しいんだろう、なんて至福のひとときだろう」と、皆で語り合いました。



私たちの運動に新たな変化が起きており、それは根深いものになりそうです。インド各地のクラブ間で新しいアイデアやインスピレーションが共有され、それがニューヨークへと伝わり、互いに励まし合い、モチベーションを高め合っています。チェンマイからケニアへ、そしてケニアからデンマークへと、その交流は広がっています。こうして、私たちのグローバルなネットワークと友情に新たなインスピレーションが生まれ、私たちは互いに学び合っています。私も学んでいます。地元のクラブでの経験を通して、これまで考えたこともなかったアイデアや気づきを得ています。ブルーミュージックという隠喩に、新たな創造的な意味が与えられつつあります。

これは、私のビジョンの根底にある考え方です。新しいアイデアが地元のクラブで育まれるなら、大きな変化はすでに始まっているのです。東日本区の人々がキャンプファイヤーを囲んで楽しそうに踊ったり、アメリカの友人たちがウェストチェスターでバーベキューパーティーを楽しんだり、フロリダ州トライアングル2Yサービスクラブのトムとロリがワイズメンズクラブ国際協会に若者を参加させるための斬新なアイデアを思いついたりするとき、私は、ブルーミュージックの価値観に触発され、巨大な組織が目覚め始めつつあることを確信するのです。

これは、あらゆる国境を越えた国際的な連帯を築くための新しい方法であり、私たちの運動の未来への希望です！

今日は、クラブからクラブへと旅をし、友人たちにこの素晴らしい目覚めに参加するよう刺激とモチベーションを与えている、すべてのブルーミュージック・アンバサダーの皆さんに、特別な温かい挨拶とハイタッチを送ります。皆さんは、本当に素晴らしい人たちです！まさにこの列車を前進させる機関車です。ありがとうございます。そして、国際会長と運動全体を代表して、アンバサダーとして素晴らしい時間を過ごしてください！



中央トラヴァンコール区　ムトリワイズメンズクラブ



マラワイズメンズクラブ（インドネシア）南東アジア区



国際本部ニュース

国際書記長
ジョース・ヴァルギース

YMIファミリーの親愛なる友人の皆さま

ジュネーブにある国際本部から外を眺めていると、秋の黄金色に染まる景色が、変化と再生の美しさを改めて感じさせてくれます。世界中のYMIファミリーの皆様、そしてご家族の皆さまが元気でいらっしゃることを願っています。国や文化は違えど、ワイズメンズクラブ国際協会を特別な存在にしている、仲間意識と奉仕の精神によって、私たちは一つに結ばれています。

11月は、私たちの国際的な家族を直接体験できる素晴らしい機会である、ビルディング・フェローシップ（BF）プログラムに特に注目が集まります。他国から来たワイズマンまたはワイズウーマンを迎え、文化を共有し、永続的な友情を築くことを想像してみてください。私たちは、各エリアが毎年少なくとも1回のBFプログラムを実施することを推奨しています。BF代表のホスト申請は、2026年12月1日に締め切られます。滞在期間は1週間から3週間程度ですが、長期滞在も推奨されています。アンバサダーを受け入れたグッドスタンディングクラブは、翌年にアンバサダーを派遣する資格を得ます。BF助成金の申請は2027年1月3日から5月1日まで受け付けています。ぜひ区理事にご連絡の上、ご参加ください！

ジャマイカの直前地域会長サンドラ・ハミルトンと米国の地域会長ジョセフ・カンジャマラが、立法協議会によって次期国際会長候補（2027/28年度）に選出されたことを心からお祝い申し上げます。二人は貴重な国際的なリーダーシップ経験とYMIへの貢献を持っています。資格のあるすべてのクラブの皆さまには、候補者についてよく理解し、投票権を行使していただくようお願いいたします。皆さまの投票が、私たちの運動の未来を形作る力となります。

私たちは、国際会長ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィクの感動的なビジョン「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」を進めていきます。ブルーミュージック・アンバサダーたちは、クラブやコミュニティに働きかけ、新たな熱意、より強い仲間意識、そして意義ある奉仕活動を促しています。ブルーミュージックは、単なるテーマではなく、すべてのクラブで行動を起こすための原動力となるべきです。私たちの価値観を再発見し、新しいアイデアを受け入れ、この運動に新たな活力を吹き込みましょう。

100日間会員増強キャンペーンは、2026年12月9日に終了します。最後の数週間は、非常に重要です。クラブ会長、部長、区理事、地域会長の皆さまには、会員数の増加を最優先事項として取り組んでいただくよう強くお願いいたします。各クラブは、少なくとも5人の新規会員獲得を目指しましょう！地域の友人や年配の方々を招待したり、以前の会員の方々と交流を深めたり、若い社会人の方々を巻き込んだり、ブルーミュージック・キャンプファイヤーを開催したり、新しいクラブのスポンサーになる機会を探ったりしてください。ブルーミュージック・アンバサダーの皆さまは、クラブのモチベーションを高め、これらの取り組みを支援する上で重要な役割を果たすことができます。

すべてのクラブがこの目標を達成したらどうなるか想像してみてください！新たな友情、新鮮なリーダーシップ、そしてより多くの奉仕活動の機会が生まれるでしょう。残された日々を大切に過ごしましょう。すべてのクラブが行動を起こす必要があります。すべての会員が招待できます。新しい会員が増えるほど、私たちの未来は強くなります。

共に力を合わせ、より強固な仲間意識を築き、運動を拡大し、ブルーミュージックの力で眠れる巨人を目覚めさせましょう。

YMIリソースのお知らせ
毎月の最新情報
マニュアル改訂委員会

マニュアル改訂委員会（MRC）は、YMIのマニュアルとポリシーが常に最新かつ実用的で、運動のニーズに合致していることを保証します。現在、YMIのウェブサイトを通じて約50種類のマニュアル、ポリシー、パンフレットを提供しています。11月はビルディング・フェローシップ（BF）プログラムに重点が置かれているため、MRCは、関連する2つの文書をご紹介したいと思います。

ビルディング・フェローシップ（BF）ポリシー

皆さまの献金がBFの目的達成にどのように貢献しているかをご覧ください。BFポリシーは、資金の管理と配分、助成金のカテゴリー、資格基準、承認手続き、および表彰に関する枠組みを提供します。また、BFリーダーおよびプログラム参加者の責任についても規定しています。BFを支援するクラブ、および申請を検討しているクラブ会員にとって、このポリシーは資金配分方法と利用可能な支援内容を理解するための重要な参考資料となります。

ビルディング・フェローシップ（BF）マニュアル

BFを通して世界と出会い、クラブに新鮮なアイデアを持ち帰りましょう。BFマニュアルは、BFポリシーを補完し、プログラムへの参加に関する実践的なガイダンスを提供します。BFの歴史と目的を紹介し、会員が助成金申請を行う際の手順を案内し、代表やホストクラブが有意義な交流を準備するのを支援します。国際的な友情がどのように視野を広げ、リーダーシップを育成できるかを探ってみましょう。

MRCは現在、これらの文書を精査し、「ICM」を「LAR」に置き換えるなど用語を更新し、明確性と一貫性を向上させるための作業を行っています。大きな政策変更は予定されておらず、委員会にはそのような変更を独自に行う権限はありません。すべての改訂と同様に、変更箇所が強調表示された更新版文書は、承認のためにLARに提出されます。それまでの間、現行版は引き続き有効ですので、どうぞ活用してください。

どうぞ。来月の情報もお楽しみに。



YMIダウンロードを詳しく見てみましょう

ワイズメンズクラブ国際協会のウェブサイトには、豊富なリソースが用意されています。上部のメニューバーにある「ダウンロード」をクリックするだけで、マニュアル、ポリシー、パンフレット、プロモーション資料、テンプレートなど、さまざまな資料にアクセスできます。すべてカテゴリ別に整理されているので、必要なものをすばやく見つけることができます。

BF
理解、参加、そして支援

前田香代子　BFプロモーション国際事業主任

11月は、ビルディング・フェローシップ（BF）の強調月間です。BFプログラムの目的、範囲、歴史といった基本事項を再確認し、プログラムの継続に不可欠なBFへの献金の現状をより深く理解していただく機会としてください。

目的と範囲

BFプログラムは、クラブ会員間の国際的な親睦を深め、YMI運動におけるリーダーシップを育成することを目的としています。これらの目的に沿って、BFプログラムは、旅行助成金（BF文化代表助成金、BF大会代表助成金など）、青少年育成・リーダーシップ開発助成金（iGo助成金、IYC参加者助成金など）、カーボンオフセット助成金など、幅広い助成金を提供しています。

歴史

当初はビショップファンド、その後長年にわたりブラザーフッドファンドと呼ばれていたビルディング・フェローシップ・プログラムは、当時北米でのみ開催されていた国際大会に海外のYMI会員が参加できるようにするために1931年に設立されました。長年にわたり、助成金の範囲は拡大し、プログラムの対象範囲も広がりました。2022年にビルディング・フェローシップ・プログラムと改称されました。

BF代表をホストする

より多くのクラブがホストクラブとしてBFプログラムを支援してくれることを願っています。BF代表を受け入れるには、2026年12月1日までにBF計画フォームにご記入ください。

BF代表になる

ぜひBF代表にご応募ください。あなたの参加には、あなた自身、あなたのクラブ、そしてYMI運動全体に前向きな変化をもたらす力があります。

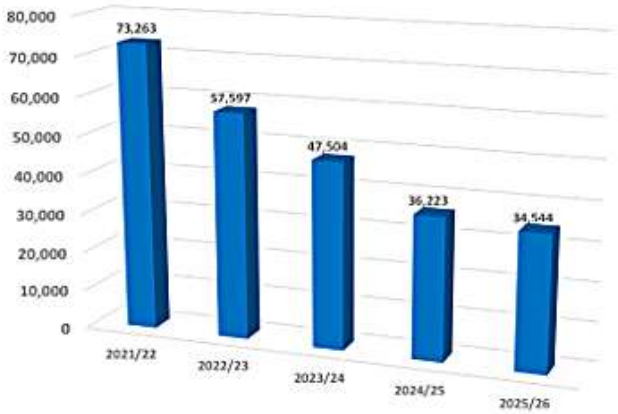
BF代表となりたい方は、2027年5月1日までに申請フォームにご記入の上、ご提出ください。申請フォームは、2027年2月頃に国際本部から案内される予定です。

BF献金の現状

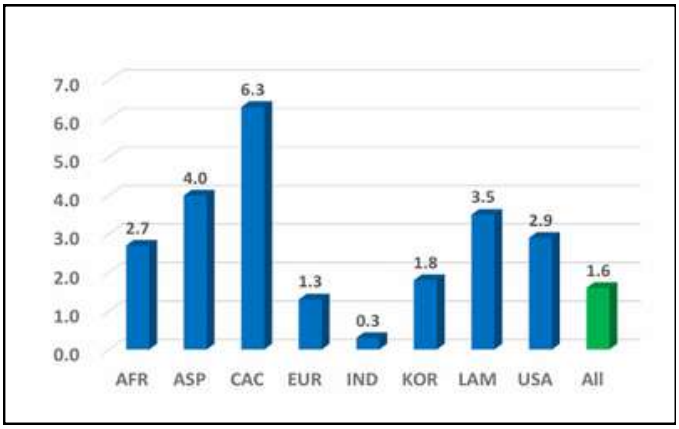
BFプログラムはBF献金によって支えられています。残念ながら、近年BF献金は、大幅に減少しています。2025/26年度のBF献金総額は、2021/22年度の半分以下となりました。これは、BF助成金に充てられる資金が大幅に削減されてきたことを意味し、プログラムを通じて会員を支援する能力が制限されることになります。

すべての会員およびクラブに対し、BFへの継続的な支援と献金の増額を心からお願い申し上げます。

年間BF献金額（CHF）



地域別会員一人当たりのBF献金額、2025/26年度（スイスフラン）



地域によって、会員一人当たりのBF献金額には大きな差があります。地域ごとに状況が異なることは承知していますが、すべての地域および区に対し、BF献金を促進するための積極的な措置を講じるよう強くお願いいたします。

BFに関する詳細情報：
⇒BF | Y's Men International

BF文化代表　2025/26



生川美樹
（日本からスリランカへ）
2025年11月7日～15日



ジェームズ・キジト
（ウガンダからジャマイカへ）
2025年11月10日～27日



マーティン・ヴォスヤン
（オランダからラテンアメリカへ）
2025年11月8日～21日



ケヒンデ・アデオエ
(ナイジェリアから韓国へ)
2026年5月6日～19日



ペ・ジョンゲ
（韓国からスリランカへ）
2026年4月4日～11日



シージャ・M・K・アジット
（インドからロシアへ）
2026年5月19日～23日

BF　リソースの管理と機会の拡大

BF支出委員会委員長 K・ ヴェンカテシュ

11月は、BFの強調月間にあたり、ワイズメンズクラブ国際協会 全体の会員にプログラムが引き続き利益をもたらすことを確実にするために、責任ある資金管理がいかに重要であるかを改めて考える機会となります。

BF支出委員会（BFEC）は、助成金申請の審査、資格要件の評価、承認のための助成金の推薦、および承認された予算内での支出の監督を担当しています。その活動の目的は、利用可能な資源が公平かつ効果的に配分され、国際的なフェローシップ、文化交流、リーダーシップ育成の機会が支援されるようにすることです。

BF助成金の受給資格
BF旅行助成金の受給資格を得るには、申請者は、前年度のYMI年度において、少なくともBFブロンズ賞（2ポイント）を獲得した、グッドスタンディングのクラブに所属している必要があります。これは、最低80スイスフランの現金献金、または、それに相当する寄付とBF活動の組み合わせによって達成できます。

BF支出の管理
BFの資金の使途は、国際旅行の助成金だけにとどまりません。支出には、プログラム運営費、RDEサミット費用、CPEインスティテュート支援費、カーボンオフセットプロジェクト、iGo助成金、その他の青少年育成事業なども含まれます。

収入と支出の差は、依然として大きな課題となっています。近年、献金は、減少傾向にある一方、事業支出は一貫して収入を上回っています。したがって、財政の持続可能性を維持するためには、利用可能な資源を慎重に管理するとともに、献金の強化に向けた新たな取り組みが必要となります。

財政的な課題と評価



献金の増加と、利用可能な資金の責任ある管理の確保は、プログラムの長期的な持続可能性を守るための重要な優先事項であり続けます。
さらなる支援を促すため、BFEC委員長は、2025/26年度に、会員一人当たりのBF献金額が特に多い区を表彰する賞を授与しました。これらの賞は、ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク国際会長によって、ペナンで開催された2026年国際大会で授与され、マリタイムズ区、台湾区、西日本区、デンマーク区の寛大な支援が称えられました。

BFEC委員長はまた、BFへの貢献促進において最も優れた業績を上げた地域事業主任を表彰する制度の拡充を提案しました。この取り組みは、認知度を高め、より多くの参加を促し、追加資金を生み出すことで、より多くの会員がプログラムの恩恵を受けられるようにすることを目的としています。

フェローシップの機会を維持する
助成金の交付能力は、利用可能な資金に直接依存します。財政的な圧力が高まる中、会員が国際的な交流やリーダーシップ育成に参加する機会を維持・拡大するためには、資金の強化が不可欠です。

BFECは、今後も公平な助成金配分、責任ある支出、そして資源の効率的な活用を最優先事項として取り組んでいきます。申請者のニーズとプログラムの長期的な持続可能性とのバランスを取りながら、資金が責任を持って配分されるよう、引き続き尽力してまいります。

iGoの特典

リタ・ヘッティアラッチ　iGo国際事業主任

インターンシップ・フォー・グローバル・アウトリーチ（iGo）は、ワイズメンズクラブ国際協会とYMCAが共同で実施するプログラムで、両団体に所属する18歳から30歳までの若者を対象に短期インターンシップを提供しています。iGoは、参加者が国際的な経験を積み、新たなスキルを身につけ、意義深い地域社会への貢献活動を行うための魅力的な機会を提供します。このプログラムは、ワイズメン子弟留学生交換プログラム（YEEP）の後継として設立されました。

よりアクセスしやすく、より影響力のある体験を提供することを目指し、iGoは2021年に立ち上げられました。これは、YMIの青少年育成と国際協力への取り組みにおける、刺激的な新たな段階を示すものです。

iGoインターンシップは、キャリアの初期段階にある若者に独自の学習機会を提供し、グローバルなコミュニティ意識と国際的な連帯感を育むことを目的としています。

最初のiGoインターンシップは、2022年にチェンマイYMCAによってエストニア出身のゲルト・ゲンタレンに提供されました。その他にも、元国際ユース代表のドワイト・トムリンソンはコソボを訪れ、ラトビア出身のオスカー・ムツェニクスはパルヌワイズメンズクラブが提供するプログラムに参加しました。3人ともiGoプログラム修了後、非常に肯定的な報告書を提出しています。

昨年、ケニア出身のメアリー・シミユは、ニューデリーに拠点を置くインドYMCA同盟が提供するプログラムに参加するiGoインターンに選ばれました。
彼女は、自身の体験談の中で、その経験がいかに自身の職業的・個人的な成長に貢献し、将来のキャリアに必ず役立つ多くの貴重な教訓を与えてくれたかを語りました。



今年、ザンビア出身のラフェカ・マルンガがタイのチェンマイYMCAに受け入れられ、2027年7月から10月までiGoプログラムに参加する予定です。彼のボランティア活動は、子どもと若者の育成、そしてグローバルコミュニティの福祉を促進する社会交流プログラムに重点を置く予定です。チェンマイYMCAは、ラフェカの滞在期間中の宿泊施設を提供する予定です。

スリランカYMCA同盟もiGoプロバイダーになることを申し出ています。プロバイダーの募集は引き続き行われており、興味のあるホストの方は、こちらからお申し込みください。

若い皆さんには、この大変興味深いプログラムをぜひ活用していただきたいと思います。詳しくはiGoのウェブページをご覧ください。

アフリカ地域ニュース

ジョウン・マティ　アフリカ地域ニュース編集者

アフリカ南東区

ケニアのムトモで木を植え、希望を育む

2026年10月10日、ムトモYサービスクラブは、マジンギラ・デーの祝典中に「ムトモを緑に塗ろう」事業を開始し、政府機関、地方自治体、企業と協力して100本の木を植樹しました。このイベントは、環境意識の向上、地域社会への貢献、そして親睦を深めるとともに、6人の新しいクラブ会員を獲得しました。



この取り組みは地元当局から高く評価され、10月20日のマシュジャア・デー（英雄の日）の祝典への参加がクラブに招待されました。会員たちはこの機会を利用して、新たに植えられた木々の点検と手入れを行い、95%という驚異的な生存率を報告しました。損傷した木は植え替えられ、すべての苗木には水やりが行われ、健やかな成長が促されました。



今回の祝賀会は、YMIの認知度向上と会員数増加を促進する絶好の機会となりました。新たに1名の会員が加わり、地元選出の国会議員も入会に関心を示しました。



ムトモYサービスクラブは、環境保全、地域社会との連携、積極的な会員募集を通じて、実践的な奉仕活動がいかに地域社会を強化し、同時にYMIの成長と認知度向上に貢献できるかを実証しました。



学びを育み、夢を育む

2024年2月以来、ナイロビワイズメンズクラブとKendirita Tours and Travelは、9回の寄付活動を通じてキベラYMCAスクールを支援してきました。食料、石鹸、下着、生理用品は、基本的なニーズを満たし、衛生状態を改善し、女子が定期的に学校に通えるようにするのに役立っています。2026年10月16日の最新の寄付では、2027年1月までの物資が提供されました。この支援は、栄養、健康、教育、ジェンダー平等、パートナーシップを通じて、SDGs 2、3、4、5、17の推進に貢献しています。22,500米ドル相当のこのプロジェクトは、学習者が、より明るい未来を築けるよう支援します。YMCAの公平性、包括性、ボランティア精神、青少年育成を反映したこの取り組みは、奉仕活動を通じて責任ある市民を育成するというワイズとYMCAのパートナーシップを確固たるものにしています。

10代の母親への支援

2026年10月24日、ナイロビ・メトロYサービスクラブは、カマエ地区で10代の母親25人と子ども30人を支援しました。生理用品とおむつを補充し、衛生、栄養、身だしなみ、セルフケアに関する指導を行いました。祈り、共に食事をすること、交流活動を通して、親睦と自信を深めました。この支援活動は、ワイズメンが実践的な思いやりを通してイエス・キリストの教えを忠実に守っていることを反映したものです。隣人を愛し、困っている人々を思いやるという精神は、生活必需品の提供、励まし、そして仲間との交流という形で表現されました。母親と子どもたちを偏見なく支援することで、彼女たちの尊厳が尊重され、信仰が行動に移され、すべての人に対するキリストの愛に基づいた包括的な奉仕を通して希望が新たにされました。



アジア太平洋地域ニュース

利根川恵子　アジア太平洋地域ニュース編集者

東日本区

東京YMCAでのブルーミュージックキャンプファイヤー

東日本区が主催するブルーミュージック・キャンプファイヤーが、2026年10月17日と18日に東京YMCA山中湖センターで開催されました。この集まりには、ワイズメン、ワイズウィメン、ワイズメネット、配偶者、子供たち計44名が参加し、親睦を深め、様々なアクティビティを共に楽しみました。



富士山の麓、山中湖畔で開催されたこのイベントは、澄み切った秋空と爽やかな空気に恵まれました。参加者は、屋外バーベキューを楽しみ、キャンプファイヤーを囲んで、ワイズメンズクラブの魅力について語り合いました。

翌日、参加者たちは、協力して大型カヌーを漕ぎ、湖を横断する風光明媚なボートクルーズを楽しみました。これは、ほとんどの参加者にとって初めての経験でした。イベントの成功に貢献したYMCAのスタッフとYMIクラブのメンバーの尽力に対し、心からの感謝の意が伝えられました。

西日本区

熊本の避難者に希望を届ける満月交流会

大阪なかのしまワイズウィメンズクラブは、中西部に属し、西日本区で唯一の女性のみで構成されるクラブです。限られた資源の中で、地域社会への奉仕活動に積極的に取り組み、寄付を集め、区大会で表彰を受けています。



月見用の花と餃子の飾り

2026年7月28日に発生した熊本地震の被災者支援のため、YMCAと連携して活動する同クラブは、現地支援を調整する小畠英恵担当主事からの提案に応じました。会員は満場一致で、9月初旬に200人以上が避難していたトヨオカ地建アリーナの避難所で「満月交流会」を開催するための資金提供に合意し、費用6万円を全額負担しました。

避難民の間で不安や孤立感が高まる中、この集まりは季節の伝統行事を楽しみ、希望と復興のメッセージを共有し、リラックスした雰囲気の中で再び繋がりを取り戻す機会となりました。

避難所の職員は、感謝の意を表し、このイベントによって避難者全員が集まり、平和で楽しい時間を過ごすことができたと報告しました。

南東アジア区

知的障がいのある人々を支援する

2026年10月4日、クアラルンプールベルバクティ・ワイズメンズクラブは、ペタリンジャヤのジャラン・ガシンにある、知的障がいを持つ子供たちの福祉を支援する団体、IQ70 Plusを訪問しました。書記のS・K・ングが率いる家族や支援者の小グループが、食料品と、クラブの2026年月餅プロジェクトで集めた現金を持参し寄付しました。



スリランカ区



マハヌワラとセンカダガラの両ワイズメンズクラブは、共同で、視覚障がい者や弱視の方々に杖14本を寄贈しました。これにより、彼らがより安全かつ自立的に周囲を移動できるようになります。

この取り組みは、ワイズウーマンであるハルシニによって企画され、ブルーミュージックプログラムの精神と国際会長のビジョンを実践に移すものとなりました。

台湾区



ダブルナインス・フェスティバルを祝う

2026年10月17日、YMI台湾区中央部は、彰化高齢者介護センターの入居者とともに伝統的な重陽節を祝い、食事を共にし、交流を深め、高齢者への感謝の気持ちを表しました。



クラブ会長、会員、ワイズメネット、ワイズユース、そしてその家族が祝賀行事に参加し、入居者の方々が食事やアクティビティを楽しめるようお手伝いしました。区理事のリチャード・コウと部長のツェ・Y・Cが開会式とケーキカット式典に参加しました。

台中長松ワイズメンズクラブが主催したこのイベントは、1999年から続く同部の10のクラブと介護施設との協力の伝統を受け継ぎ、高齢者への敬意、感謝、そして思いやりの重要性を反映したものでした。

オーストラリアにおけるブルーミュージック事業

ジェニファー・ジョーンズ元国際会長、アデレードYサービスクラブ

最近、アデレードのモドベリーにある私の地元の教会で、教会員の多くが一人暮らしをしていることに気づきました。そこで、リーダーたちは、そうした状況下で起こりうる社会的孤立を解消するために何か行動を起こそうと決めました。YMIのテーマである「ブルーミュージック」に合わせて、アデレードYサービスクラブが、春のバラが咲き誇る庭のある地元の民家で行われた「モーニングティー」イベントのスポンサーおよび開催を申し出ました。約20人の女性が、和やかな雰囲気の中で交流を深め、美味しいモーニングティーを楽しみました。



出席者の一人であるヘレンから、次のようなメッセージが届きました。「素晴らしいモーニングティーと素敵な飾りつけをありがとうございました。招待された私たち全員が一人暮らしなので、とても特別なイベントでした。こうして集まって、おもてなしを受ける機会は滅多にありません。このイベントはYMIクラブの長老たちが企画されたものだと聞いています。一人暮らしの人たちを見過ごさないように尽力してくださった皆さんに感謝します。夫が亡くなってからのこの3年間、家に話し相手がいないと、どれほど辛いかを身をもって経験しました。ですから、このイベントに参加できて本当に感謝しています。」



私たちは、このグループや地域社会の他の人々との交流を深めるための他の機会を見つけたいと考えています。

ヨーロッパ地域ニュース

ビルジット・ジェイコブセン　ヨーロッパ地域ニュース編集者

ヨーロッパ地域

ヨーロッパにおける区間トレーニング

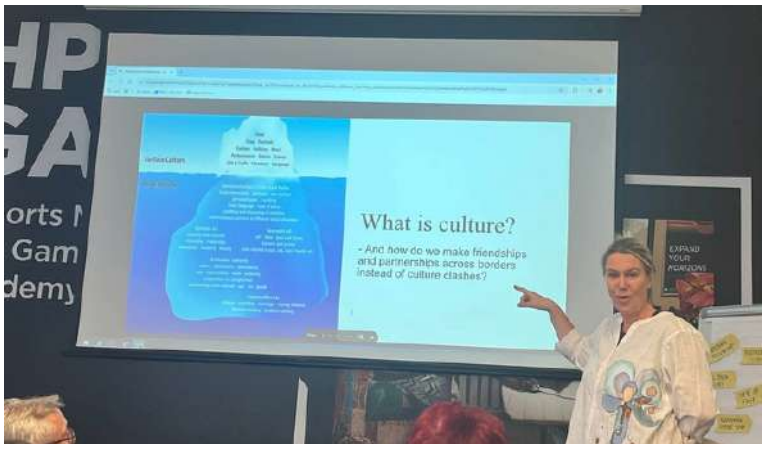
ヨーロッパ地域は、ブラチスラバYMCAで区間（R2R）週末研修を開催し、40名の参加者が集まりました。

この研修は、リーダーシップ育成、知識共有、そして仲間意識を育む機会を提供し、地域全体のつながりを強化するものでした。

セッションは、ジョース・ヴァルギース国際書記長、マーティン・ヴォスジャン地域会長、アーリング・ビルクバック次期地域会長、ミュンヘンYMCAのミルヤム、LTODのコニーとフレミングが主導し、YMI内でのリーダーシップ育成と協力関係を支援するために、それぞれの経験と洞察を共有しました。









デンマーク区

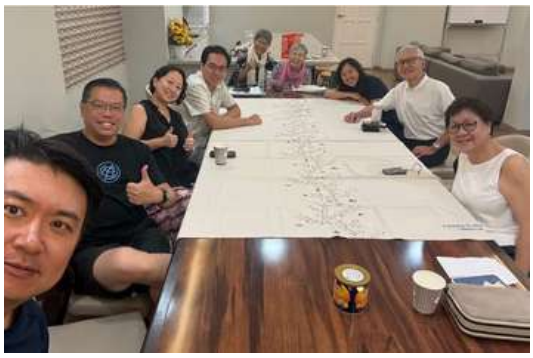
「私の小さなバックパック」プロジェクト – ルーマニア

2026年9月7日、ルーマニアのブラショフにあるワイズメンズクラブは、「マイ・リトル・バックパック」プロジェクトを実施し、ブラショフ県ハルマンにあるポドゥ・オルトゥルイ小学校の幼稚園年長から4年生までの生徒28名に、通学カバンと必需品を提供しました。

この取り組みは、子どもたちが新学期を万全の準備と学習意欲を持って迎えられるよう支援するとともに、家庭の経済的負担を軽減することを目的としていました。クラブ会員全員が寄付やスポンサーシップを通じて貢献し、教師のアナ・マリア・ベルチェスクからは、生徒たちのニーズを把握する上で貴重なサポートを受けました。



デンマーク区



国際交流の強化：アルメニアとシンガポール

9月10日、アルメニアのエレバンYサービスクラブは、シンガポール・ベータチャプター・ワイズメンズクラブの会長であるウェイン・スーを迎えました。この会合は、地域プロジェクトに関する情報交換や、今後の協力の可能性を探る機会となりました。

スーは、シンガポール帰国後、シンガポール・ベータチャプタークラブの会合の写真と、会員からの温かい挨拶をエレバンクラブに送りました。写真に写っているテーブルクロスが、スーの訪問時に贈られたものだったことに、エレバンクラブは大変喜びました。この心遣いは、両クラブの友情と親睦が深まっていることを示すものであり、高く評価されました。

ウンゲニワイズメンズクラブ





ベンダーワイズメンズクラブ

モルドバで新たに2つのクラブが設立される

デンマーク区は、2026年10月にモルドバに新たに設立された2つのクラブ、ウンゲニワイズメンズクラブとベンダーワイズメンズクラブの設立を祝いました。ベンダーは、主にドニエストル川の東側に位置するモルドバの分離地域である沿ドニエストル共和国にあります。

これら2つのクラブの設立は、YMIの地域における存在感を拡大する上で前向きな一歩であり、地域社会への奉仕、親睦、そして国境を越えた協力のための新たな機会を生み出すものです。

ロシア区





サンクトペテルブルクにおける15年間の環境への取り組み

「Week4Waste」キャンペーンの一環として、サンクトペテルブルクのワイズメンは、かつてファルフォロフスコエ墓地と呼ばれていたヴィノグラドフスキー公園の清掃活動に長年取り組んできました。15年前に始まったこの清掃活動は、環境保全と地域社会への貢献の模範となっています。

10月の清掃活動では、会員たちはゴミ拾いや落ち葉の片付けを行いました。また、亡くなった友人トフィク・アスケロフを偲んで植えられたリンゴの木の様子も確認し、木々が元気に育ち実をつけているのを見て喜びました。この集まりは、親睦を深め、思い出を分かち合う機会となり、ささやかな環境保全活動がいかに友情を育み、クラブの歴史に貢献した人々を称えることができるかを示しました。

インド地域ニュース

ジョセフ・ヴァルギース　インド地域ニュース編集者

インド地域

ブルーミュージック・アンバサダー・トレーニングプログラム

ブルーミュージック・アンバサダー養成プログラムが、2026年10月4日にアルーヴァYMCAで開催されました。ジョース・ヴァルギース国際書記長の指導の下、合計74名のアンバサダーが参加しました。このプログラムは、アンバサダーのスキルを強化し、ブルーミュージック事業を推進する意欲を高め、ブルーミュージックを通して親睦、創造性、そして前向きな社会変革を促進することを目的としていました。



インド中央区

がん啓発セッション

第5区は、ヴィザグ・ジャズワイズメンズクラブと共同で、2026年10月17日にがん啓発セッションを開催しました。ヴィシャカパトナムのアポロがんセンターの主任外科腫瘍医兼ロボット手術医であるチャンドラ・カリヤン医師が、がんの予防、早期発見、最新の治療法について講演しました。セッションには40名の参加者が集まり、医師と活発な意見交換を行いました。



若者による平和のための遊び ― 障壁を打ち破り、架け橋を築く

統一宗教イニシアチブ（URI）の旗印の下、2026年10月8日から10日にかけて、第5部で「平和のための青少年演劇」イベントが開催されました。このプログラムは、異宗教間の理解、相互尊重、多様性の中の統一、そして平和共存を促進し、若者たちがそれぞれの地域社会における平和と調和の使者となるよう促しました。



中央トラヴァンコール区

区青少年キャンプ

中央トラヴァンコール区の区青少年キャンプが、2026年10月10日と11日にチャラル・クンヌのマルトマ学習センターで開催されました。キャンプは、区理事のリーラ・ゴピークリシュナによって開会され、青少年にとって有意義で充実したプログラムの幕開けとなりました。



中央トラヴァンコール区



「月経衛生と健康」セッション

区のワイズメネットの「女性のエンパワーメント」プログラムの一環として、第1部は、2026年9月30日にパラコデのアムリタ女子高校で「月経衛生と健康」に関する啓発セッションを実施しました。一般内科、アーユルヴェーダ、ホメオパシーを専門とする医師による授業には、100名以上の生徒が参加しました。

中東区

オナム祭

10月4日、アジュマン・クラウン・パレス・ホテルで開催されたAARPOO 2026では、副区理事とそのキャビネットチームの主導のもと、オナム祭の精神が生き生きと表現されました。12のクラブから300名を超える会員とゲストが集まり、ケララ州の豊かな伝統、文化的なパフォーマンス、白熱した競技、そして約200名が楽しんだ伝統的なオナム・サディヤが融合した、活気に満ちた祝祭となりました。





クリケットトーナメント

中東区は、アラブ首長国連邦ドバイのユナイテッド・プロスポーツにてクリケット・トーナメントを盛況の内に開催しました。ドバイ・フレンズワイズメンズクラブが優勝し、シャルジャ・シティワイズメンズクラブとシャルジャワイズメンズクラブが準優勝となりました。個人賞は、シュレイヤス・スリークマール（MVP）、アジュ・チャッコ（最優秀打者）、ジビン（最優秀投手）に贈られました。区理事のマノジ・P・ネアは、参加者と主催者全員に感謝の意を表し、特にイベントの司会を務めたリーバ・マリアムを称えました。このトーナメントは、親睦、団結、そしてスポーツの卓越性を称えるものでした。

インド中西区

クリーン・フォート・コチ ’26

コチ・ゴールデンミストワイズメンズクラブとAMAIは、2026年10月2日にフォートコチ・ビーチでガンジー生誕記念日のビーチ清掃活動を共同で開催しました。市議会議員のシニ・マシューが開会式を行ったこの活動には、会員、家族、学生警察候補生が熱心に参加しました。ボランティアたちは約400メートルの海岸線を清掃し、環境意識、市民としての責任、地域社会への奉仕を促進しました。





コレンチェリー環境行動

コレンチェリー・セントラルワイズメンズクラブは、カルカッピリー・コットゥール・ジャナキーヤ保健センターで清掃活動を実施し、敷地内に果樹の苗木を植樹しました。この取り組みは、プートリッカ村議会議長とクラブ会長が共同で開始し、区のリーダーやクラブ会員が参加しました。地域社会の健康と環境の持続可能性を促進することを目的としています。

インド北、東、北東区



衣類配布プログラム

バラソール・ワイズメンズクラブは、兄弟クラブであるトリバンドラムティーチャーズコネクト・ワイズメンズクラブと協力し、2026年10月17日にオディシャ州バラソールYMCAで衣類配布プログラムを実施しました。80名の困窮者に衣類が配布され、その後、軽食が提供されました。両クラブの共同事業は、YMCAの真の兄弟愛、親睦、そして地域社会への奉仕の精神を反映したものでした。

南インド区



無料眼科検診

カライクディのダイヤモンドクラブ（会員数102名）は、マドゥライのアラビンド眼科病院および地区失明対策協会と提携し、レナ・カンナン（インド生命保険公社）とその家族の協賛を得て、アリヤクディで無料眼科検診キャンプを開催しました。検査を受けた306名のうち、45名が無料眼科手術を受け、55名が無料眼鏡を受け取りました。この取り組みは、クラブ会長のR・M・ヴェンカタチャラムが主導し、部長のS・R・ムルゲサンが調整役を務めました。

チェンナイでの地域奉仕活動

ダーン・ウツァヴとスワチャタ・キ・セヴァの一環として、チェンナイOMRワイズメンズクラブは、HITS（NSSおよびNCCセル）と提携し、老人ホーム訪問、キャンパス清掃、デング熱啓発キャンペーンなどの地域奉仕活動を実施しました。2026年9月27日には、同クラブはCommuniTREEの沿岸清掃活動にも参加し、海洋ゴミの削減と海洋保護を推進しました。





神経発達障がいに関する教員研修プログラム

サティヤマンガラム・シェローズ・ワイズウィメンズクラブ（西部）は、サティヤマンガラムのSARUマトリキュレーション高等中等学校で、神経発達障がいに関する教員研修プログラムを開催しました。専門家でロータリアンのリアンプリヤダルシニ・Vが、インクルーシブ教育を促進するため、視覚支援、個別指導、早期介入について教師を指導しました。

南中央インド区



300週間の優しさ ― 300章にわたる人間愛

クーヌールワイズメンズクラブは、食料支援活動を300週連続で実施し、困窮している人々に栄養、希望、そして尊厳を届けました。この素晴らしい節目は、クラブの揺るぎない思いやりと奉仕の精神を反映しています。「私たちが提供できる最も大切なものは、単なる食料ではなく、希望です。」

南西インド区

区ユースキャンプ

南西インド区の区ユースキャンプがカンニヤークマリYMCAで開催され、区理事のEg・ジャヤクマールによって開会されました。このキャンプは、若いメンバーがリーダーシップスキルを磨き、友情を育み、仲間意識を深めるための素晴らしい機会となりました。様々なアクティビティやインタラクティブなセッションを通して、参加者はチームワーク、社会的責任、そして、ワイズメンズクラブ国際協会の精神を身につけるよう促されました。キャンプは、奉仕とリーダーシップへの新たな熱意と決意をもって幕を閉じました。



家族の集まり

ゾーン3は、ブルーミュージックのコンセプトの一環として、2026年10月2日にコッラムで家族の集まりを開催しました。このイベントには、次期国際会長のV・S・ラダクリシュナン、元国際会長のA・シャナヴァスカン、州議会議員のヴィシュヌ・モハン、その他著名な指導者の方々が出席しました。この集まりは、ブルーミュージックの精神を通して、親睦、家族の絆、そして団結を祝いました。





西インド区

区ユースキャンプ

西インド区は、若者のリーダーシップ能力の育成、チームワークの促進、そして人格形成を促すため、区ユースキャンプを開催しました。このキャンプは、参加者が友情を育み、自信を高め、ワイズメンズクラブ国際協会の価値観を体感する機会となりました。





無料眼科検診および白内障スクリーニングキャンプ

クートゥパランバ・ワイズメンズクラブは、タラセリーのコムトラスト眼科病院およびムーリヤドのK・V・スディッシュ図書館・閲覧室と協力し、無料の眼科検診と白内障スクリーニングキャンプを開催しました。この取り組みにより、54名に無料の白内障手術が提供され、37名には眼鏡が割引価格で提供されました。キャンプはK.・V・スディッシュ図書館ホールで開始され、地域社会への眼科医療の普及を促進しました。

絵画コンクール

マラワイズメンズクラブは、K.・P・パトロース・ヴァイディヤンズ・カンダムクラティ・ヴァイディヤサラと共同で、「第25回メガ絵画コンクール」を成功裏に開催し、若い参加者の創造性と芸術的才能を育みました。このイベントは、芸術の振興と、将来有望な芸術家の想像力を育む上で、重要な節目となりました。



韓国地域ニュース

キム・ジンク　韓国地域ニュース編集者



韓国全北区

ペナン大会への参加と秋夕期間中のYMIプロモーション
韓国全北区からは、キム・ギョンモ理事率いる30名以上の会員が、9月にマレーシアのペナンで開催された2026年YMI国際大会に参加しました。韓国地域からは100名以上の会員がこの国際大会に出席しました。

全北区からの参加者は、文化公演、ブルーミュージック合唱団、地元ツアーなど、大会プログラムに積極的に参加しました。この集まりは、世界中のYMIメンバーと交流を深めながら、親睦と友情を育む機会となりました。

区は、韓国の主要な伝統祝日の一つである秋夕（チュソク）を前に、地域住民への啓発キャンペーンも実施しました。「幸せで豊かな秋夕をお過ごしください！」というメッセージが書かれた横断幕を、区と6つの部が共通のデザインで作成し、全州市をはじめとする各地に掲示しました。



このキャンペーンは、地元住民や休暇で帰省する人々にYMIを紹介するものでした。
キム・ギョンモ理事は、ペナン大会に参加した会員に感謝の意を表し、秋夕の横断幕キャンペーンは、地域社会におけるYMIの認知度と好イメージを高めるための新たな機会となったと述べました。

韓国大邱慶北区



リーダーシップと成長に焦点を当てる
イ・ミョンギル区理事が率いる韓国大邱慶北区は、9月5日に大邱青少年文化センターで、初の定例理事会、リーダーシップ研修、およびABRフォーラムを開催しました。

大邱部、東部、西部の歴代リーダー、クラブ会長、役員らがこのイベントに出席しました。理事会では、参加者らは委員会や監査役からの報告を受け、区の将来の発展に関するいくつかの事項を検討・承認しました。

続いて行われたリーダーシップ研修とABRフォーラムは、区の現状と今後の方向性について話し合う機会となりました。ABRフォーラムでは、釜蔚慶区のリーダーのリ・ヨンギルと大邱慶北地域ABR委員会委員長のジャン・インスンが、YMI活動の今後の方向性についてそれぞれの見解を述べました。イ・ミョンギル区理事は、この会合は実り多いものであったと述べ、会員が共に前進していくよう激励しました。また、会員一人ひとりが会員数の増加に貢献できる具体的な方法を見つけることの重要性を強調しました。

韓国仁川区

新クラブの設立を歓迎し、YMCAは農産物販売を通じて支援を行う



韓国仁川（インチョン）区は、キム・チャンヨプ区理事の主導のもと、9月18日にインチョン西海ワイズメンアンドウィメンズクラブのチャーター認証状伝達式と初代会長の就任式を祝いました。

ジ・ソンウン地域会長は、韓国地域役員、地方自治体やYMCAの代表者、区およびクラブの役員など約50名のゲストとともに式典に出席しました。イ・ジャンギュが、「より良い世界を、共にボランティア活動で！」を主題に、クラブ初の会長に就任しました。



同区では、地域社会への貢献のための資金を集めるため、毎年恒例の農産物販売プロジェクトも継続しています。今年で7年目を迎えるこのプロジェクトは、地元で生産された農産物のオンライン販売とオフライン販売を組み合わせたものです。

今年は、会員たちがダンジン産のサツマイモを600箱販売しました。キム・チャンヨプ区理事は、昨年と同様、この事業による収益はすべて仁川YMCAに寄付され、運営資金として活用されることを確認しました。

このプロジェクトは、韓国の農家への支援と地域社会への奉仕活動のための資金調達を組み合わせたものであり、この地域とYMCAとの継続的な協力関係を反映しています。

韓国済州区

みかん収穫の地域奉仕活動



10月11日、済州市ヨンピョンドンの農園で、韓国済州地方の住民約90人がボランティアとしてみかんの収穫作業に参加しました。

「済州を愛そう！みかんを愛そう！済州YMIと共に」をスローガンに掲げたこのイベントでは、地域各地のクラブからメンバーが集まり、収穫期に地元の農家を支援する実践的な地域奉仕活動を行いました。

参加者の中には、済州島名産のミカンを収穫するのが初めての人もいました。参加者たちは丁寧にミカンを摘みながら、地元の農家の仕事ぶりをより深く理解することができました。



チョン・ジンホ区理事は、韓国済州区がこれほど大規模なみかん収穫のためのボランティア支援を組織したのは今回が初めてだと述べました。そして、この活動が地域社会との継続的なコミュニケーション、情報共有、協力の始まりとなることを期待すると語りました。

この日、約5トンのみかんが収穫され、集荷センターに運ばれました。この活動は、参加者同士の友情と親睦を深める機会であると同時に、地域社会に直接貢献する機会ともなりました。

韓国ソウル区

第5回ワイズメン平和ウォークソン(漢江からアプノックまで)

韓国ソウル区では、10月17日の午後に第5回ワイズメン平和ウォークソンを開催しました。澄み渡る青空とイベントに最適な美しい秋晴れに恵まれました。





ソウル・漢陽、ソウル・ダリゴル、ソウル・チョンプンヘセの各クラブから、ヤングワイズメンのメンバーと入会希望者が集まりました。参加者は、オーブンで焼いたサンドイッチを分け合い、ソウルYMCAとの共同企画を通して、ウクライナ戦争で被害を受けた子どもたちを支援するための募金活動を行いました。

このイベントは、若者に影響を与える5つの主要な問題（飲酒、喫煙、薬物乱用、ギャンブル、自殺）への意識を高めるキャンペーンも支援しました。参加者は、若者の健全で安全なライフスタイルを促進する横断幕を掲げながら、鍾路と清渓川のエリアを歩きました。

韓国南区

第70回リーダーシップ研修；ライラッククラブが高齢者支援活動を実施

パク・ジョンホン区理事率いる南区は、9月19日に無等山国立公園エコセンターで第70回リーダー研修プログラムを開催しました。



区および部の役員、クラブ会長、クラブ役員、会員、そして新規会員がこのプログラムに参加しました。研修では、奉仕の精神、会員管理、組織内のコミュニケーション、リーダーシップ、イベント管理、財務管理、広報、AIの実践的な活用など、幅広いトピックが取り上げられました。



参加者はまた、日常生活におけるAIの役割の拡大や、韓国南西部における半導体クラスターの準備に関する動向についても学び、YMIメンバーが急速に変化する環境にどのように備えるべきかについて議論しました。

パク・ジョンホン区理事は、このプログラムが会員の実践的なリーダーシップスキルの強化に役立つことを期待して、分かち合い、思いやり、奉仕の文化をさらに広げるよう激励しました。一方、光州東部の光州ライラックワイズウィメンズクラブは、9月22日、光州市龍山洞にあるコトメ老人ホームを訪問し、高齢者の方々と交流しました。会員は、入居者の方々と会話したり散歩したり、レクリエーションや文化活動に参加したりしました。ボランティアたちは、親睦や交流を通して、孤独感や孤立感を軽減し、YMIの思いやりと奉仕の精神を共有しようと努めました。

米国地域ニュース

メラニー・カイフエ・ヨシダ　米国地域ニュース編集者



ハワイ区

ハワイにおける100年にわたる奉仕と親睦を祝して

ハワイ区にある複数のYMIクラブは、2026年9月26日に創立100周年を盛大に祝い、ハワイ内外から会員、家族、ゲスト、支援者が集まり、1世紀にわたる奉仕、友情、そして親睦を称えました。



祝賀行事は、ハワイにおけるYサービスクラブ発祥の地であるホノルル・ヌウアヌYMCAで始まり、歴史的な記念式典と、豊かな歴史を紹介する展示が行われました。色鮮やかな獅子舞は、1924年に北米以外で最初のワイズメンズクラブを上海に設立した後、1926年にホノルルワイズメンズクラブを設立した創設者、コー・フォン・ラムを称えるものでした。長年にわたるパートナーシップを記念して、記念の木製銘板と、YMCAの今後の改修プロジェクトへの寄付が贈呈されました。参加者は、まつげ糸を使ったレイ作り体験も楽しみました。



夜は、交流会、島々におけるクラブの功績を紹介する歴史展示、地元ミュージシャンによる生演奏、そして創立100周年記念ディナーへと続きました。ハイライトとしては、YMIトリビアゲーム、50年以上の在籍期間を誇るゴールデンメンバーの表彰、そして現・元クラブ会長や、米国地域会長を務めたハワイ区メンバーへの賛辞などが挙げられます。

ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク国際会長とジョース・ヴァルギース国際書記長からの特別なメッセージ、そして両者の署名入り感謝状が、祝賀会に国際的な彩りを添えました。

委員会メンバー、ボランティア、スポンサー、そして支援者の皆さまの献身的な努力によって実現したこの100周年記念式典は、単なる過去の祝賀にとどまらず、ハワイ区がYMCAの使命に揺るぎないコミットメントを持ち続け、有意義な奉仕、友情、そして親睦の精神を次の100年にも繋げていくというビジョンを改めて示すものとなりました。

この歴史的な祝典の実現にご尽力いただいた皆さまに心から感謝申し上げます！
100周年記念ウェブページでは、イベントのハイライト、写真、動画などをご覧いただけます。

訪問者の視点

日本からのご挨拶

大阪センテニアルクラブ　坂本千春





大阪センテニアルワイズメンズクラブの坂本哲朗、熊本ジェーンズワイズメンズクラブの前田香代子、豊の３名の皆さんと共に、ハワイのクラブの記念すべき100周年記念式典に出席できたことは、大変光栄でした。ヌウアヌYMCAで行われた色鮮やかな獅子舞は、祝祭的な歓迎の雰囲気を醸し出し、モリス・シモニシによるハワイ区の歴史に関する講演や、50年以上の奉仕を続けている会員への表彰は、この式典を特に意義深いものにしました。

夕方には、カトリック・チャリティーズで創立100周年記念祝賀晩餐会が開催されました。昔のハワイの風景や人々の暮らしぶりを映した懐かしいビデオが上映され、参加者は過去を懐かしみました。多くのスピーチが行われ、パーティーは夜遅くまで続き、盛況のうちに幕を閉じました。

ハワイの友人たちとこの記念すべき節目を分かち合い、100年にわたる友情と奉仕を祝うことができて、大変嬉しく思いました。

北大西洋区

ブルーミュージック・イン・アクション

北大西洋区では、2026年10月17日にニューヨーク・ウェストチェスターYサービスクラブのホストにより、初のブルーミュージック・プログラムが開催されました。
このイベントは、ヨハン・ヴィルヘルム・エルトヴィク国際会長が掲げる2026/27年のビジョン「ブルーミュージックで眠れる巨人を目覚めさせる」を実現するための重要な一歩となりました。



クラブ会員は、ブルーミュージック事業の中核を成し、YMIのコアバリューを反映する、愛、共感、親切、包容力、創造性、そして喜びにあふれた仲間意識といった価値観を祝うために集まりました。このプログラムには、米国地域会長のジョセフ・カンジャマラ、次期区理事のシャジ・ザカリアス、ウェストチェスタークラブ会長のジョス・マラヤル、歴代会長、クラブ会員、その他のゲストが出席しました。

この集まりは、メンバーに対し、包摂的なリーダーシップ、創造的な奉仕活動、意義深い交流、そして世代を超えたより強い繋がりを通して、ブルーミュージックの精神をそれぞれのクラブや地域社会に広げていくよう促しました。このイベントは、ブルーミュージックが単なるテーマではなく、行動への呼びかけであり、メンバーが優しさを広め、地域社会を強化し、奉仕活動を通して希望をもたらすよう鼓舞するものであることを改めて示しました。

情報発信：YMCA総会でのYMI
元区理事のフィリップ・ベルフィールドとキム・ディールは、ルイジアナ州ニューオーリンズで開催された全米YMCA総会にワイズメンズクラブ国際協会を代表して出席しました。約3,500人のYMCA関係者が参加したこのイベントは、YMIクラブの認知度を高め、地域YMCAやコミュニティを支援する可能性を広く知らしめる貴重な機会となりました。

展示ブースには多くの来場者が訪れ、その多くはYMIについてよく知らなかったため、YMIの活動を紹介し、潜在的なパートナーシップを探る機会となりました。この取り組みにより70件の連絡先を得、その中には新規クラブ設立に関心を示す人も複数含まれており、特に中米区からの高い関心が寄せられました。

その後の連絡により、関心のある団体は初回会合を開催し、奉仕活動や小規模な資金調達活動から始めることを検討しました。また、クラブの設立およびチャータープロセス全体を通して支援を提供しました。参加を支援し、YMIの普及に尽力してくださったローワン・カバラスYMCAおよびCEOのジェイミー・モーガンに特に感謝の意を表します。





TIME OF FAST
SPIRIT OF Y'S MEN

TOFのプロジェクト申請は、ワイズ加盟クラブ、YMCA、およびYMCA公認加盟団体から受け付けています。YMCAまたは加盟団体からの申請の場合は、プロジェクト実施地域に所在するワイズ加盟クラブ、部、区、または地域の承認が必要です。

詳細はこちらをクリック

TOFプロジェクトは、以下のすべての基準を満たさなければなりません。

- 困窮している人々や、彼らを支援している人々と直接関わる。
- 受益者の生活の質を直接的または間接的に向上させる。
- 自助的なものである。
- 継続的な資金提供を受けているか、設立後は自己資金で運営する。
- 国連の持続可能な開発目標のうち、少なくとも1つに関わっていること

プロジェクトごとの最大助成額は15,000スイスフランです。助成申請の締め切りは毎年11月15日です。

国連デー
11月

11月9日～15日　　国際科学平和週間

国際科学平和週間は、平和、安全保障、持続可能な開発を促進する上で、科学、技術、国際協力が果たす重要な役割を強調するものです。1986年に初めて実施され、1988年に国連によって正式に承認されたこの週間は、科学の進歩がいかに平和な社会に貢献し、世界中の人々の生活を向上させることができるかについての理解を深めることを目的としています。

ワイズメンズクラブ国際協会（YMI）にとって、この記念日は、教育、協力、奉仕を通してより強固なコミュニティを築くという私たちの決意を反映するものです。科学的知識とイノベーションは、気候変動、清潔な水へのアクセス、健康、環境の持続可能性といった課題への取り組みをコミュニティが支援するのに役立ちます。これらはすべて、国連の持続可能な開発目標（SDGs）とワイズメンズクラブ国際協会の戦略2032に密接に関連しています。協力と平和への共通のコミットメントを通して、たとえ小さな地域的な取り組みであっても、より持続可能で平和な世界に貢献できるのです。

11月25日　　女性に対する暴力撤廃国際デー

11月25日は、女性に対する暴力撤廃国際デーです。この日は、世界で最も蔓延している人権侵害の一つである女性に対する暴力への意識を高める日です。国連によると、女性のほぼ3人に1人が生涯のうちに身体的暴力や性的暴力、あるいはその両方を経験しています。暴力には、家庭内暴力、嫌がらせ、搾取、そして近年増加しているデジタルプラットフォームを通じた虐待など、様々な形態があります。

この日は、毎年恒例のジェンダーに基づく暴力反対16日間キャンペーンの始まりでもあり、12月10日の世界人権デーまで続きます。このキャンペーンは、暴力の防止と被害者支援のために、意識向上、より強力な保護、そして集団行動を呼びかけています。YMIは長年にわたりジェンダー平等を提唱しており、女性を正会員として受け入れた最初の国際奉仕団体のひとつです。YMIは、女性のリーダーシップにおける平等な機会を促進し、あらゆるレベルでの女性のエンパワーメント、参加、そして意思決定の場への女性の参画を引き続き促進しています。

この重要な日を迎えるにあたり、暴力の防止は、私たち全員の責任であることを認識しましょう。差別をなくし、互いを尊重し、クラブ活動のあらゆる面で女性の平等な参加を確保し、女性と女児の保護に取り組む団体を支援することで、誰もが安全かつ尊厳をもって暮らせるコミュニティの構築に貢献できるのです。

このセクションでは、YMIの価値観と使命に最も明確に共鳴する、国連の主要な記念日をいくつか紹介します。国連記念日の全リストと詳細については、以下のウェブサイトをご覧ください。

国連公式カレンダー

神の始まり！

ヴィリー・モルゴー　キリスト教強調国際事業主任

「しかし、主に愛されているきょうだいたち、私たちは、あなたがたのことをいつも神に感謝せずにはいられません。神は、霊による清めと、真理の信仰によって、あなたがたを救いの初穂としてお選びになったからです。神は、このことのために、すなわち、私たちの主イエス・キリストの栄光にあずからせるために、私たちの福音を通してあなたがたを招かれたのです。」（テサロニケ第二 2:13-14、聖書協会共同訳）

上記の聖書の一節は、神の良き始まりを指しています。私たちの救いは、罪と死の力から解放され、信仰と希望と愛に満ちた人生へと導かれることです。救いとは、イエス・キリストと結びつくことによって得られる自由です。救いとは、洗礼と信仰を通して既に導かれている、生まれ変わった人生であり、永遠に神と共に生きる人生なのです。

この救いは神からの賜物であり、福音の宣教を通して伝えられ、信仰、すなわちイエス・キリストを心から受け入れることによって受け取られるものです。パウロは、私たちが初めから神に選ばれた存在であることを述べることで、救いが神からの賜物であることを強調しています。

「初めから」とは、私たちが洗礼を受けた日や、イエス・キリストが私たちの人生においていかに重要であるかを理解した日（それが突然起こったか、徐々に起こったかに関わらず）を指すのではありません。「初めから」とは、私たちの選びが、すべての時が始まる前、世界が創造される前に起こっていたことを意味します。

神が今なさることは、パウロがエペソ人への手紙2章4-5節で書いているように、私たちの内に神の最初の愛を生き生きとさせることです。

「しかし、神は憐れみ深く、私たちを愛された大いなる愛によって、過ちのうちに死んでいた私たちを、キリストと共に生かし、あなたがたの救われたのは恵みによるのです。」（聖書協会共同訳）

パウロはローマ人への手紙8章28〜30節で、私たちの救いは、天地創造以前から神が定めておられたものであるという考えを展開しています。神は、私たちが自分自身を知る前から私たちを知っておられました。私たちが言葉を話したり、神の呼びかけを聞いたりする前から、神は、私たちを召すことを決定しておられました。救いは、神によって私たちに与えられるものであるということを、これ以上強く表現することはできません。

したがって、いかなる悪の力も私たちに深刻な害を及ぼすことはできず、私たちは、再び、神がイエス・キリストに授けられたのと同じ栄光を分かち合うことができるという、この素晴らしい始まりに神に感謝することができるのです。

2027/28年度にBF代表をホストしましょう！



国際的な友情と交流のためにあなたの扉を開きましょう！

ワイズメンズクラブ国際協会は、2027/28年度に、クラブ、部、区、地域が、ビルディング・フェローシップ（BF）代表を受け入れることを呼びかけています。

BF代表を受け入れることは、国際的なつながりを強化し、アイデアや経験を交換し、文化を共有し、あなたのクラブ活動や地域奉仕プロジェクトを紹介する素晴らしい機会です。

国際的な親睦と理解を深める、この意義深い伝統にぜひご参加ください！

ホスト申請締切日：

2026年12月1日

BF代表を迎え入れることに興味がありますか？

希望を登録するには、締め切り日までにBF計画申込書に必要事項を記入して提出してください。

私たちは共に、国境を越えた友情を築き、YMI運動を世界規模で強化することができます！